

## ■ 笠縫学区地域協働合校事業（笠縫学区まちづくり協議会 子ども育成部会）

- 1 【活動の趣旨】 「子どももおとなもともに学び、ともに育つ」  
地域活動を通して、子どもと大人がつながり、絆を育むことにより子どもたちの成長を見守る。

2 【特徴的な活動内容】

「もちつき体験」

場 所 笠縫まちづくりセンター

日 時 平成30年12月1日（土）  
9：00～12：30

参加者 小学生51名、大人33名

協 力 自治連合会、ひばりサロン（地域）、  
健康推進員、笠縫小学校PTA、  
更生保護女性会、地域ボランティア、  
まちづくり協議会役員、  
文化・健康・スポーツ部会



☆もち米を蒸し、臼と杵でつくという昔ながらの方法で子どもたちは、餅つきを体験した。つきあがった餅を、子どもたち自身で丸め、きなこ・砂糖醤油につけて、地域の方々と一緒に美味しくいただいた。待ち時間のある子どもたちには、クリスマス前ということもあり、サンタクロースを色紙で折り、小さな色紙に貼る作品作りも行った。

3 【実施に当たっての工夫】

- ・当日の流れを円滑にするため、あらかじめグループ分けをし、つく・丸める・遊びの順番を決めた。
- ・例年は小学校を会場に行っていたが、今期よりまちづくりセンターを全館貸切って行い、来館される方々への活動のアピールを図った。
- ・冬の感染症が流行する時期であるため、マスク・手袋・手洗いをするタイミングや、手洗い方法を周知徹底した。

4 【事業の成果】

- ・蒸しあがった熱々のもち米を「こつき」と言われる杵でもち米を押し潰す工程も体験し、もち米が餅になっていく様子を学び体験した。
- ・子どもと大人と一緒に日本伝統の「もちつき」を体験することで、お互いがふれあい、かかわり合う良い機会になった。
- ・家庭では体験できない「もちつき」に子どもたちにとっては、貴重な体験になった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・今後も継続して活動が行えるように、より多くの地域の方々の協力が必要
- ・地域協働合校の事業であることの周知